



農業のために 地域のために 明日のために

JA共済の 地域貢献活動

JA共済は、全国でさまざまな
地域貢献活動を行っています。
個々の活動が、未来に向けて
地域や農業の大きな力となるように
今後もこの活動に取り組んでまいります。



JA共済の 地域貢献活動

報告集 <北海道・東北エリア版>



JA共済の地域貢献活動ホームページ
「ちいきのきずな」でも
さまざまな活動をご紹介します。



スマートフォンの方はこちらから!

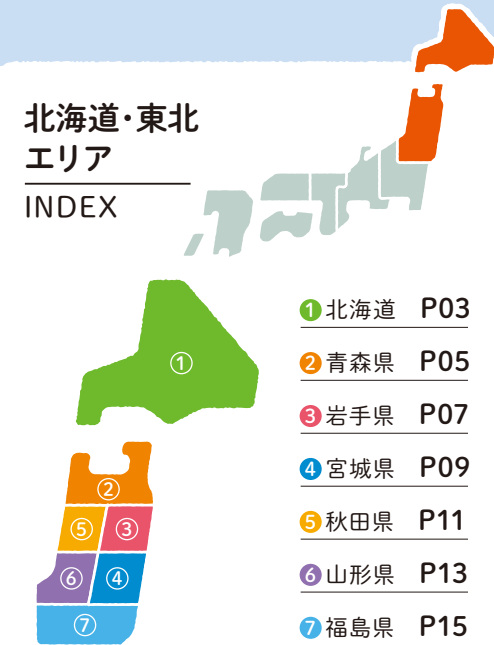




地域に根をはり、くらしを支える。

JA共済は農業のために、地域のために、明日のために、全国各地で地域の独自性を活かした地域貢献活動に取り組んでいます。組合員や地域の皆さまが、豊かに安心して暮らすことができるように、皆さまの声に耳を傾け、地域に寄り添います。

北海道・東北 エリア INDEX



■アルバム P17

北海道



1・2) かぼちゃ団子作りの料理風景
3) かぼちゃパウダー、かぼちゃフレーク(かぼちゃ加工品)

1 食育活動を通じて、食に対する意識を向上

地域に暮らす親子を対象に、JAサロマの女性部員が講師となり、特産品のかぼちゃとじゃがいもを使った団子作りや、かぼちゃパウダーに加工されるまでの学習講座等を行う活動を支援しました。

採ったばかりの食材が料理になるまでの、一連の過程を目の前にして普段、何気なく口にしているものがどうやって作られているのか、参加者の食に対する意識を高めてもらうことができました。



3

2 農家組合員の方へ 低速車マーク5万枚を配付

夕方から夜間にかけては、後方から走行する一般自動車にトラクターが追突される危険性が高まるため、交通事故の未然防止を目的に農家組合員の方へ低速車マークの配付を行いました。

組合員の方からは、「一般車両から認識されやすくなった」と、大好評でした。

配付時期にあわせて、テレビやラジオのCM放送を行い、地域住民の方にも農作業事故の未然防止を含め、幅広く交通事故の未然防止を呼びかけられました。



4



5



6



7

低速で走っていることを
早めに後ろのドライバーに
知らせることができ
安心です!

- 4) 農家組合員への配付風景
- 5) 日本農業新聞掲載広告
- 6) 低速車マーク配付チラシ
- 7) トラクター後部に貼られた低速車マーク

青森県



1

① 葉つきこかぶの魅力を伝えるイベントを実施

県内外の消費者を対象に、特産品の葉つきこかぶにふれていただく収穫体験と、有名シェフを招いての創作メニューの提供を行いました。

参加者は、実際に食べることで分かる甘さやジューシーさに感動していました。

「百聞は一見にしかず」ならぬ、「百聞は一口にしかず」で、多くの方々に特産品の魅力を伝えられるイベントとなりました。



2



3

一人でも簡単に収穫でき、大人も子どもも楽しめました！



4

- 1) 子どもの笑顔が印象的な収穫体験
- 2) フルコースを美味しく試食する参加者
- 3) 収穫体験
- 4) シェフによる料理実演とトーク



5

② ヴァンラーレ八戸と協力し、サッカー大会を初開催

ヴァンラーレ八戸と協力し、八戸市ダイハツスタジアムで地域の子どものためのサッカー大会を開催しました。

大会には地域のサッカーチーム16チーム、238人の子どもたちが参加し、予選を経て行われた優勝決定戦では延長戦にもつれ込むなど、白熱した試合が行われました。

大会の賞品や来場者抽選の賞品には管内の特産農産物を用意し、農産物ももらった子どもたちは大喜びでした。



6



7

- 5) 賞品やトロフィーを手に笑顔の子どもたち
- 6) 優勝目指しボールを追いかける子どもたち
- 7) 表彰式

たくさん農産物もらえて嬉しい！また参加したいです。

岩手県



1



2

2019年の大会がますます
楽しみになりました!

1 2019年のラグビー国際大会を前に、 ラグビーの普及・支援に貢献

地域の子どもたちを対象に、ラグビーの親善交流大会を開催しました。大会では、ラグビーにゆかりのあるお笑い芸人のイベントを企画し、お笑いコンビのスリムクラブが参加しました。

タッチラグビーで交流を深め、子どもたちは大喜びでした。

来たる2019年のラグビー国際大会も、開催地のひとつである岩手県とともに盛り上げていきます。



3



4

- 1) スリムクラブとの記念撮影
- 2) 各チームにJA共済ロゴ入りボールを贈呈
- 3) 試合の様子
- 4) 贈呈されたJA共済ロゴ入りボール

2 つじあやのさんをお招きし、 胎教コンサートを実施

子育て支援として、主に妊婦の方を対象とした胎教コンサートを実施しました。

当日は302名にご来場いただきました。

コンサートは2部構成で、第1部はいわてフィルハーモニーによるミニオーケストラ形式のコンサート、第2部はシンガーソングライターのつじあやのさんによるライブ&トークショーを行いました。

つじあやのさん自身の出産を通じて感じたこともお話しいただき、妊婦の方に寄り添った内容で好評でした。



5

5) 胎教コンサート告知チラシ

6) いわてフィルハーモニーによるコンサートの様子



6

宮城県



1) 寄贈した簡易テント・トイレ
2・3) 寄贈の様子



地域の皆さんに、
より安心して生活
していただけます!

1 災害に備え、いざというときの不安を解消

ゲリラ豪雨や台風などの自然災害により避難が必要となった場合に備え、簡易テント、緊急用のトイレを町に寄贈しました。

有事の際にテントを活用してもらうことで、避難所でもプライベートスペースを確保でき、避難中の方のストレスを軽減するだけでなく、着替えや授乳スペースとしても活用できます。

これからも率先して有事に備え、行政と連携を図り地域を支えていきます。

2 反射材シール500セットを寄贈し 交通安全を啓発

警察署や交通安全協会と協力し、バッグや自転車のサドルなどに貼れる反射材シール500セットを寄贈しました。

交通安全キャンペーンや高齢者への交通安全講話の際に配布し、交通安全への意識を高めることができました。

今後も地域の交通安全を守る活動を継続していきます。



反射材のおかげで
暗いところでも目立つので
安心です!



4) 反射材シール「ブラックほたるくん」
5) 寄贈した反射材
6) 警察署長・交通安全協会会長への贈呈
7) 警察署長への贈呈



秋田県



1

1 子育て世代に地域の伝統料理を伝える

地域の農畜産物や伝統料理に楽しみながら親んでもらうため、地産地消フェスタを開催しました。食に関するクイズや餅つき体験、みそ玉づくりを行い、地域で採れた野菜等を使った料理の試食会も行いました。

地産地消フェスタを通じて、訪れていた子育て世代の交流・活性化にもつながり、地域のきずなの輪が広がりました。



2



3

地元産の農畜産物で作った料理がとても美味しく、参考になりました！



4

- 1) 餅つきに挑戦
- 2) 地域で採れた食材を使って料理
- 3・4) 地域の食材を使った料理の試食会



5

2 鮎稚魚の放流を通じて地元の自然とふれあう

地域の幼稚園・保育園児とその保護者を対象に、皆瀬川で鮎稚魚の放流体験を行いました。晴天のもと、皆瀬川は園児たちの歓声で賑わいました。

子どもたちに、身近にきれいな川や自然があることを知ってもらうことができ、記憶に残る自然とのふれあい体験になりました。



6



7

- 5) 全員で集合写真
- 6) 始まりのあいさつ
- 7) 川へ鮎の稚魚の放流

水が冷たかったけど楽しかったです！

山形県



1 イベントを通して食と農に対する理解を深める

食と農の大切さについて理解を深めるため、食農教育イベントを実施しました。味覚や食習慣の基礎が形成される就学前の子どもたちに、自然の味や本来の味を体験してもらい、保護者同士の交流の機会にもなりました。

イベントでは、野菜ソムリエによる講演会や、ごはんの大切さを伝えるキャラクターショー・紙芝居を行い、昼食には山形県産農畜産物をふんだんに使ったメニューを提供しました。

参加者からは大変好評で、食と農の大切さについて、親子で楽しく学んでいただくことができました。



- 1) 山形県産農畜産物を使った料理が並ぶ昼食会
- 2) 昼食会には主催者も出席し、参加者とともに料理を楽しみました。
- 3) 野菜ソムリエによる講演会
- 4) JA全農山形オリジナルキャラクター稲作戦隊「おこめんジャー」ショー

2 声かけを通して生活に寄り添い、健康を見守る

食材などの配達を行うだけでなく、利用者との会話を通して生活や健康の見守りを行う農協便利便「しゃんしゃん号」への支援を行っています。

実際に会話の中から、利用者が低温やけどを負っていることに気づき、早期に医師の治療を受けていただけたこともありました。

このように異変や悩みにいち早く気づき、介護予防につなげていくことで、配達を心待ちにしている方々が安心して暮らせるよう取り組んでいきます。

- 5) 配達しているお弁当
- 6) 農協便利便「しゃんしゃん号」
- 7) 注文を受けた商品を利用者へ配達



福島県



- 1) 福岡県への視察
- 2) コラボ商品の未来彩ジャム
- 3) 未来彩ジャムの試食会

1 女性農業者と地元の方の交流サイトを開設

女性農業者の方と一般消費者、地元企業の方が気軽に交流できる場として「みらいろ女子会」という会員制交流サイトを開設しました。これまでに他県への視察、企業とのコラボ商品の開発などを行いました。

会員同士の情報交換から、様々な活動へ発展させていくことが大切だと考えています。

2 「いただきます」の意味を知る貴重な農業体験

自然環境や経済圏の異なる5JAが合併してJA福島さくらとなったことを機に、管内の小学生とその保護者を対象に、アグリツーリズムイベントを実施しました。

大根の収穫体験、動物の餌やり、バター作り体験を通して、「『いただきます』の意味を親子で考えさせられる貴重な体験ができた」と、参加者から嬉しい感想をいただきました。

地域にとって、なくてはならない農業の大切さを次世代につなげていきたいです。



自分で作ったバター、すごく美味しかったです! いい体験になりました。

- 4) 布引高原での収穫体験
- 5) 手作りバター
- 6) バターの美味しさに笑顔がこぼれる子どもたち
- 7) みんなで「いただきます!」をして郡山の野菜を使った料理を堪能

地域貢献活動アルバム

PHOTO ALBUM



宮城県

交通安全協会への
反射材シールの
寄贈

楽しく食について
学ぶことができました!



北海道

親子で作る
料理体験



川の自然を知る
いい機会になりました!



秋田県

鮎稚魚の
体験放流



青森県

サッカー大会
の開催



岩手県

ラグビースクール
親善交流大会
への協賛



福島県

みらいの
女子会



山形県

親子で山形の
食と農を
考えるつどい



北海道

青森県

岩手県

宮城県

秋田県

山形県

福島県

アルバム